

久山中便り

久山中学校
令和8年3月11日発行
第80号

手作りの「お別れ会」

いずみ学級

10日(火)は、いずみ学級のお別れ会でした。教室も飾り付けられ後輩たちが、卒業する三年生をお祝いしました。

卒業記念品も一人一人手渡され、本当に心のこもった会になりました。引っ張ってくれた三年生がいなくなるので、後輩たちは少し寂しい様子です。

それでも、一・二年生が手作りの会を一生懸命に準備しました。中でも、リコーダーなどを練習してきた成果を合奏で披露し、楽しい会を締めくくりました。

三年生からは、とても素敵な挨拶がありましたので、一部紹介します。



「僕は、中学校三年間、いずみ学級で過ごしてきました。一年生の時は、学校に行けなかったのですが、二年生では修学旅行もあり、少しずつ登校できるようになりました。いずみ学級では、マリンワールドに行ったり、和白千湯で潮干狩りや野鳥観察をしたり、様々な活動をしました。特に、今年初めて「祭りひさやま」に出展し、販売や接客を経験できたことが一番の思い出です。このように、僕が学校に登校し、楽しく過ごせるようになったのは、サポートしてくれる先生や、仲良くしてくれた同級生、後輩たちのおかげだと思います。僕は、四月から高校生になります。高校では登校することと授業やゼミの活動を頑張りたいです。三年間ありがとうございました。」(Mさん)

先生への感謝、同級生への思いやり、後輩への配慮など、文面からも、たくましく成長した様子がうかがえます。

四月から町を出ての活動となります。たくましさに一層磨きをかけ、力強い人材となつて、中学校に姿を見せてくれることを期待しています。卒業おめでとうございます。

最後のクラスマッチ (三年生)

11日(水)は、公立高校入試も終えた三年生たちが、絆を深める最後のクラスマッチを行いました。

種目は、バレーボール。苦手な仲間も楽しめるように、「2度目にボールに触る場合は、手で取つてよし」というルールです。

三年間の最後の学年行事とあつて、二つの体育館には、歓声が響き渡っていました。卒業まであと二日。楽しかった仲間と過ごす時間も、あとわずかとなりました。



15年前の3月11日

15年前の11日(水)は、東日本大震災が発生した日です。その当時、テレビで津波が大地を覆う映像を見たときは、衝撃を受けました。

今年度は、11月に防災講演会を行い、被災した中学校の校長先生を招いて講演会を行ったり、一年生が防災学習として調べたことを報告したりするなど、学校としても取り組んだところです。

朝の会では、担任の先生が、震災の被害と防災対策の大切さをお話ししました。

大切な人を守るためにも、おうちでも、防災について話し合つてほしいと思います。